

都市再生整備計画 事後評価シート  
久慈街なか地区(第2期)

令和3年12月

岩手県久慈市

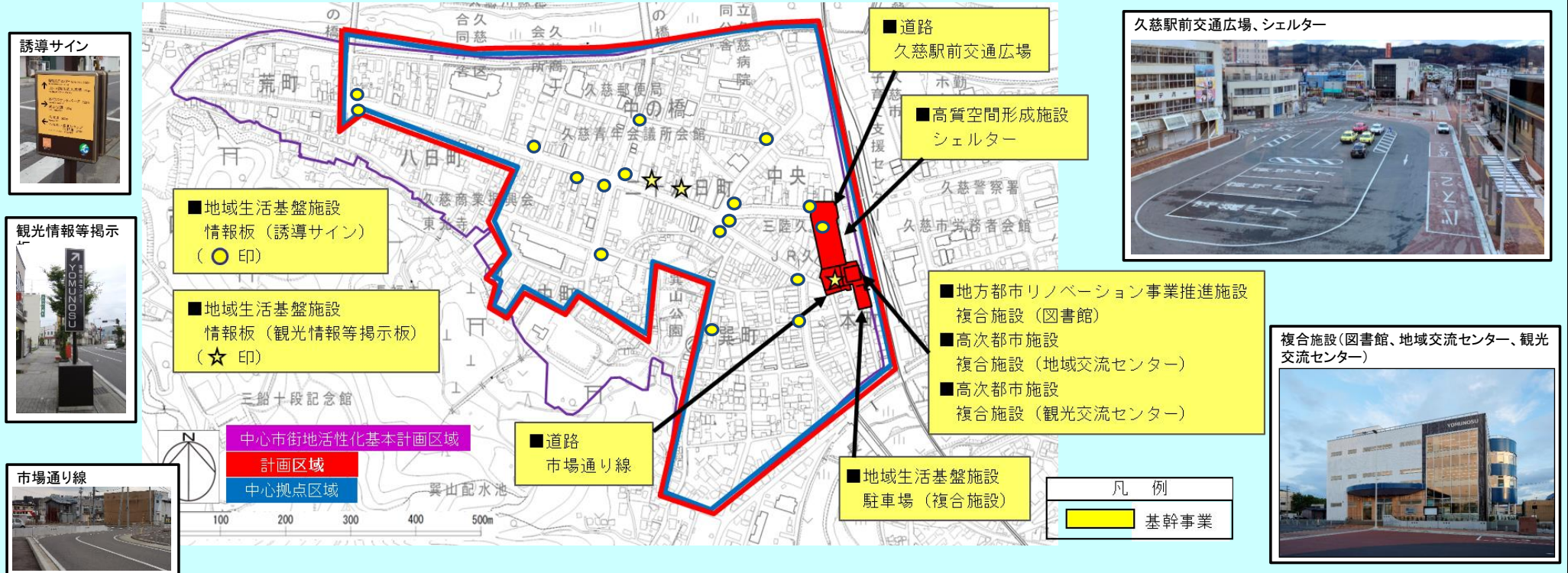
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	岩手県		市町村名	久慈市		地区名	久慈街なか地区(第2期)			面積	31.5 ha		
交付期間	平成26年度～平成30年度		事後評価実施時期	令和3年		交付対象事業費	1,735百万円	国費率	0.5				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(久慈駅西口線、久慈駅前通り線、市場通り線、久慈駅前交通広場、歩車道案内標識)、地域生活基盤施設(久慈駅前イベント広場、久慈駅前駐輪場)、高次都市施設(複合施設(地域交流センター、観光交流センター))、地方都市リノベーション推進施設(複合施設(図書館))										
		提案事業											
	当初計画から削除した事業	基幹事業	道路(久慈駅西口線、久慈駅前通り線、歩車道案内標識)、地域生活基盤施設(久慈駅前イベント広場、久慈駅前駐輪場)	削除/追加の理由 権利者との合意に至らず、複合施設の建設地を変更したことに伴って事業中止			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 影響なし						
		提案事業	なし										
	新たに追加した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(駐車場)、情報板、高質空間形成施設(シェルター)	権利者との合意に至らず計画変更したことに伴い事業追加			影響なし						
		提案事業	なし										
交付期間の変更	当初	平成26年度～30年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響										
変更	平成 年度～ 年度												
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	複合施設利用者数	人/年	0	H25	112,000	H30	0	130,224	○	あり なし	コロナ禍の影響が心配されたが、小さいイベント数を増やしたことが、利用者増につながった。	R4年4月頃
	指標2	計画区域で開催されるイベントの参加者数	人/年	119,593	H24	131,552	H30	124,200	13,200	×	あり なし	● コロナ禍により、当該イベントが中止されたことから、目標を達成できなかった。	R4年4月頃
	指標3	歩行者・自転車通行量	人/日	5,508	H24	5,514	H30	3,869	3,187	×	あり なし	● コロナ禍による経済活動の自粛等に伴い、目標が達成できなかった。	R4年11月頃
	指標4										あり なし		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
4)定性的な効果発現状況	○駅前交通広場に新設された平面の噴水には若い親子連れの様が見られたほか、新規の集客イベントの開催により、久慈駅前にこれまで馴染みのなかった年齢層の回遊が見られた。また、観光バス駐車場により、久慈駅前に観光客の回遊が増えた。○複合施設は、図書館が設置された公共交通機関等の待合場であり、学生の自習場所として最適な施設であるため、高校生等に多く活用されている。これまで中心市街地への滞在が少なかった子供たちが市街地地域を知るきっかけとなっている。												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況			今後の対応方針等						
	モニタリング	・久慈市イベント担当課による参加者数のモニタリング ・歩行者・自転車通行量調査によるモニタリング		都市再生整備計画に記載し、実施できた			●		計画終了後も事業の効果継続を検証するため、モニタリングを継続して実施する。				
	住民参加プロセス	・駅前周辺整備に係るまちなかワークショップ及び市民アンケート ・駅前整備ワークショップ及び駅前複合施設ワークショップ		都市再生整備計画に記載し、実施できた			●		市民アンケートにより、住民の満足度、要望等を汲み取り、今後のまちづくりに活かしていけるよう努める。				
	持続的なまちづくり体制の構築	複合施設運営会議		都市再生整備計画に記載し、実施できた			●		指定管理者や久慈商工会議所の主体的な活動にまかせ、市は側面支援に徹する。				

## 様式2-2 地区の概要

久慈街なか地区(第2期)(岩手県久慈市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値				
大目標:にぎわいと親しみあふれる「まち」の再生を基本コンセプトとした久慈広域圏及び北三陸の玄関口の「顔」の創造 目標1:「駅前拠点」と「やませ土風館」の連携による中心市街地全体のにぎわいの創出 目標2:市民の学習・活動拠点の形成	複合施設利用者数	単位:人/年	0 H25	112,000	H30	130,224	R2	
	計画区域で開催されるイベントの参加者数	単位:人/年	119,593	H24	131,552	H30	13,200	R2
	歩行者・自転車通行量	単位:人/日	5,508	H24	5,514	H30	3,187	R2



**まちの課題の変化**

【達成されたこと】景観上問題となっていた旧市民市場及び周辺の空き店舗等の跡地に複合施設が開業したことで、周囲の賑わいが改善された。観光バスの停留場所を新設したことで、付近県道での乗降が無くなり、交通安全面が改善された。また、バス等乗り場のロータリー化により、一般車両及び歩行者の交通安全対策が図られた。情報交流センター等の建設に伴い、アクセス道となる市道等を拡幅したことで、駅周辺に車で立ち寄りやすくなった。郊外立地の図書館を久慈駅周辺に移転するとともに、イベント広場の整備により、同駅の主要利用者である高校生の学習スペースや休憩場所として活用され、賑わいが増した。  
 【残された未解決の課題】久慈駅周辺がリニューアルにより、付近の古い建造物との景観バランスが取れなくなっている。市立図書館及び交流施設が整備され、市民の往来が増したが、当市は、公共交通機関が弱い、市民の主な交通手段は車であることから、受け入れられる一般駐車場の台数が少なくなった。

**今後のまちづくりの方策(改善策を含む)**

【魅力的な市街地形成による歩行者・自転車通行量の向上】  
 空き店舗への出店を推進することで、魅力ある商店街を形成し、市街地の回遊者増を図る。また、やる気のある事業主をキーマンにイベントグループを形成し、新しい企画に取り組むなど、消費者のニーズに応えた商店街を形成する。  
 【様々な機能が集約された中心市街地の形成による歩行者・自動車通行量の向上】  
 コンパクトなまちづくりは人口減少、高齢化社会の到来に向け不可欠であり、そのためには魅力のある店舗や様々な機能が集約された中心市街地の形成が必要である。このため、空き店舗、未利用地の解消を図りながら、市民のニーズを満たす空間を中心市街地に形成していく。